

## 担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 新規就農者への資金支援にかかる積極的な取り組みについて

JA名 JAバンク熊本（熊本県）

<p><b>1 動機</b> (経緯)</p>	<p>農業経営基盤強化促進法の一部改正の施行（平成 26 年 4 月 1 日）に伴い，従来県が貸付けていた就農支援資金を引き継ぐ形で，日本政策金融公庫（以下，「公庫」）の資金として青年等就農資金（以下，「青年等資金」）が新設されました。</p> <p>これを受け，次世代農業者への積極的な支援のため，同資金の円滑な実行を目的とし，JA（金庫含む）・市町村・県振興局・公庫との連携による当県独自の取組みとして，青年等就農計画にかかる検討会の新設を行い円滑な就農認定及び資金対応を行える体制づくりを行いました。</p>
<p><b>2 概要</b></p>	<p>通常，青年等資金を利用する農業者の方については，市町村による青年等就農計画の内容検討と金融機関による貸付要件の確認が別々に実施されます。</p> <p>しかし，当県では青年等資金取扱当初から，JA（金庫含む）・市町村・県振興局・公庫が集まり，同資金を利用する農業者の方の青年等就農計画の内容を検討するとともに，資金貸付の要件を確認する体制を構築しました。</p> <p>これにより関係機関との意見交換・情報共有による審査の精度向上，および計画検討等の同時開催により，認定にかかる就農者負担の減少，審査時間の短縮が可能となりました。</p>
<p><b>3 成果</b> (効果)</p>	<p>上記取組みの実施を受け，当県の平成 26 年度における青年等資金（受託方式）の実行実績は 17 件/実行金額 96 百万円となり，初年度から円滑かつ迅速に取扱事務を開始できました。</p> <p>また，平成 27 年度も 6 月末時点で 6 件の実行，21 件の受付となっており，青年等資金を通じた次世代農業者の支援を着実に進めております。</p>
<p><b>4 今後の予定</b> (課題)</p>	<p>青年等資金の実行件数は着実に伸長しています。今後とも，顧客向けの説明会等を通じて次世代就農者へのサポートを継続して実施していきます。</p>